



近年、まちづくりにおいて「場づくり」が注目されています。

その試みは、時に単なる居心地のよい空間づくりに

とどまることもありますが、

集まる人たちがつながりを築き、

それぞれの能力やバックグラウンドを活かして

新しい取り組みを始めるようになる。

さらに、そこから生まれたプロジェクトが、

社会の制度や仕組みを変えていく力を持つようになる。

そうした豊かな場をデザインしていく必要が

あるのではないだろうか？

今号では、そんな「活きた場」づくりの方法論を探ります。